

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課	■担当係	芸術文化係
■評価事業名称	「おかあさんの詩」全国コンクール実行委員会事務		
■事業開始年度	平成9年度		
■評価事業コード	090200 - 110	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	01 芸術文化活動の推進	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画(平成28年度～平成30年度)		
■事業の目的と概要	サトウハチロー氏の業績を永く顕彰するため、「母」への思いをテーマにした詩を全国から募集し、詩を通じた心の教育及び文化交流の促進を図る。事務局業務 当該事業の企画立案、広報周知 応募作品の受付整理及び集計 実行委員会及び企画部会の開催 審査会及び記者会見の開催 予算執行 表彰式の準備、実施		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	「おかあさんの詩」全国コンクール実行委員会事務	実行委員会	実行委員会・企画部会・審査会開催表彰式(11/17)開催入賞作品集作成等	実行委員会開催5回、企画部会開催5回、審査会開催1回、表彰式開催1回、入賞作品集作成1,100部、表彰式チラシ作成配布2,000枚、表彰式プログラム作成配布500部

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	75	73	80	98	
人件費	5,585	6,082	4,807	6,225	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,660	6,155	4,887	6,323	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	会議開催回数	6回	6回	5回	5回	
02	応募都道府県数	30	26	28	27	47都道府県と外国からの応募県(国)数。平成30年度は1カ国(アメリカ)から応募あり
03	応募作品数	3,711	3,259	2,969	2,755	平成24年度から応募対象を20歳以下に変更

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

海外を含め広く作品の募集を行い、全国27都道府県(外国含む)から応募があった。表彰式では市内小中校生が出演し、子どもたちの活躍する舞台を作り上げることができた。

問題点・課題等

応募数が200編近く減少した。作品募集締切後の集計作業に多くの時間を費やしている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

今後も詩を通じた心の教育及び文化交流の促進を図っていく。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了